

参考資料

# 平成21年度 関東地方整備局予算の概要

(群馬県)

平成21年3月

国土交通省関東地方整備局

【群馬県】主要事業一覧

■河川関係

重点項目	直轄・補助	水系・河川名	事業(地区)名	市町村名	H21年度実施内容	事業完成による効果	事業費(億円)	新規・継続・完成予定
安全	直轄	利根川水系神流川	譲原地区地すべり対策事業	藤岡市	地すべり防止施設整備	土砂流出による河床上昇からの土砂災害・洪水氾濫等に対する安全度の向上	3.7	継続
安全	直轄	利根川水系吾妻川	大前床固群整備事業	嬭恋村	床固群整備	土砂流出による災害発生の防止	11.1	継続
安全	直轄	利根川水系吾妻川	浅間山火山山砂防事業	嬭恋村・長野原町	ソフト・ハード両面から総合的な火山防災対策の検討を実施	火山噴火により過去に大きな災害をもたらした浅間山周辺にて、火山噴火に伴う被害を軽減	—	継続
安全	直轄	利根川水系吾妻川	ハツ場ダム建設事業	長野原町 東吾妻町	代替地造成、付替鉄道、付替道路工事等の進捗を図りつつ、本体工事に着手	洪水被害の軽減、新規都市用水の供給、河川の水量確保、発電	225.0	継続
安全	直轄	利根川水系利根川	谷田川第一排水機場改良事業	板倉町	機場改良	機場施設の信頼性の向上、及び維持管理コストの縮減、内水被害からの安全度の向上	12.3	継続
安全	補助	利根川水系石田川	石田川流域調整池事業	太田市	流出入施設整備、用地補償	洪水被害の軽減	3.0	継続

■道路関係

重点項目	直轄・補助	道路・路線名	事業名	市町村名	H21年度実施内容	事業完成による効果	事業費(億円)	新規・継続・完成予定
活力	直轄	国道17号	上武道路	太田市 ～前橋市	工事・用地、調査設計推進	現国道17号の交通混雑の緩和	41.9	継続
活力	直轄	国道17号	前橋渋川バイパス	前橋市 ～渋川市	工事・用地、調査設計推進	現国道17号の交通混雑の緩和、県中央部におけるネットワークの強化	36.6	H21年度一部区間開通予定
安全	直轄	国道17号	檜沢橋橋梁補修	利根郡 みなかみ町	床版補修等の予防的修繕工事	予防的修繕による橋梁の長寿命化により、ライフサイクルコストの大幅な縮減	1.1	H21年度完成予定
暮らし	直轄	国道17号	前橋市飯土町～今井町歩道設置	前橋市	歩道の設置	通学路の安全確保	1.0	H21年度完成予定
暮らし	直轄	国道18号	安中市岩井～中宿自転車道整備	安中市	自転車道の整備	安全な歩道・自転車走行空間の実現	1.1	H21年度完成予定
活力	補助	一般国道354号	高崎～玉村バイパス	高崎市・玉村町	バイパス整備	現道混雑緩和・地域間連携強化	1.0	継続

【群馬県】主要事業一覧

■都市・住宅関係

重点項目	直轄・補助	事業(地区)名	市町村名	H21年度実施内容	事業完成による効果	事業費(億円)	新規・継続・完成予定
活力	補助	JR両毛線・東武鉄道伊勢崎線連続立体交差事業	伊勢崎市	踏切対策として、連続立体交差の整備を推進(用地買収および高架工事の実施)	踏切除却による交通渋滞の解消と、伊勢崎市中心市街地との一体化による都市の健全な発展を推進	17.5	継続
安全	補助	伊勢崎駅周辺第一地区住宅市街地総合整備事業(密集型)	伊勢崎市	老朽化建築物の除却等	都市基盤整備による防災性にすぐれた都市居住環境の創出等	1.5	継続

■営繕関係

重点項目	直轄・補助	施設名等	事業(地区)名	市町村名	H21年度実施内容	事業完成による効果	事業費(億円)	新規・継続・完成予定
安全 暮らし 環境	直轄	※前橋地方合同	※前橋地方合同庁舎	前橋市	敷地調査の実施	官庁施設としての防災拠点機能を強化、あわせてバリアフリー化及び地球温暖化対策を推進	0.05	新規

注)地方分権改革の検討の対象となった18府省15系統の「出先機関」が「入居予定の※」については、支出負担行為実施計画段階で、国の出先機関との関係を精査する事としている。

『活 力』  
【事業推進】

国道17号 上武道路

平成21年度事業費：41.9億円

熊谷市、深谷市、太田市、伊勢崎市、前橋市

1. 事業の必要性及び概要

上武道路は、国道17号深谷バイパスの上武IC（熊谷市西別府）を起点とし前橋市田口町に至る延長40.5kmの大規模バイパスです。

本道路は、都市間連絡道路として、地域の基盤整備と国道17号の交通混雑解消を図る重要な役割を担っています。

○全体計画

事業箇所：埼玉県熊谷市西別府～群馬県前橋市田口町

延長：L=40.5km

事業内容：調査設計、用地買収、道路改良工事、橋梁工事等 一式

全体工期：昭和45年度～

2. 平成21年度の予定

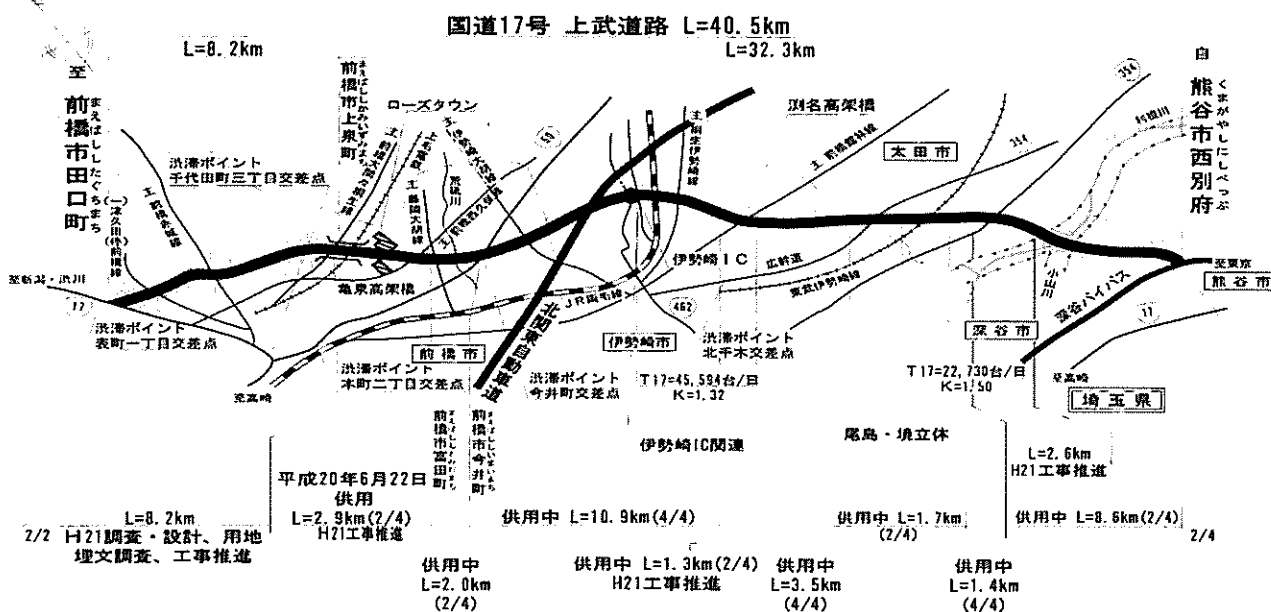
平成20年度は、前橋市富田町～前橋市田口町間で埋蔵文化財調査、用地買収及び改良工事を推進し、前橋市富田町～前橋市上泉町間（L=2.9km）について暫定2車線供用しました。また、伊勢崎市境上淵名（淵名高架橋）で橋梁下部工事に着手しました。

引き続き、平成21年度も前橋市上泉町～前橋市田口町間で埋蔵文化財調査、用地買収及び改良・橋梁工事を推進するとともに、太田市武蔵島町～太田市安養寺町間で改良舗装工事等を推進します。

3. 期待される整備効果

上武道路が完成することにより国道17号の交通混雑の緩和を図り、沿道環境の改善及び道路の利便性の向上に貢献します。

4. 位置図及び概要図



『活 力』  
【事業推進】

国道17号 前橋渋川バイパス

平成21年度事業費：36.6億円

前橋市、吉岡町、渋川市

1. 事業の必要性及び概要

前橋渋川バイパスは、国道17号の前橋市田口町から、利根川を渡河し渋川市半田に至る延長5.7kmのバイパスです。

本道路は、国道17号の渋滞緩和と、群馬県中央部における交流ネットワークの強化を図る重要な役割を担っています。

○全体計画

- 事業箇所：群馬県前橋市田口町～群馬県渋川市半田
- 延長：L=5.7km
- 事業内容：調査設計、用地買収、橋梁・舗装工事等 一式
- 全体工期：平成8年度～

2. 平成21年度の予定

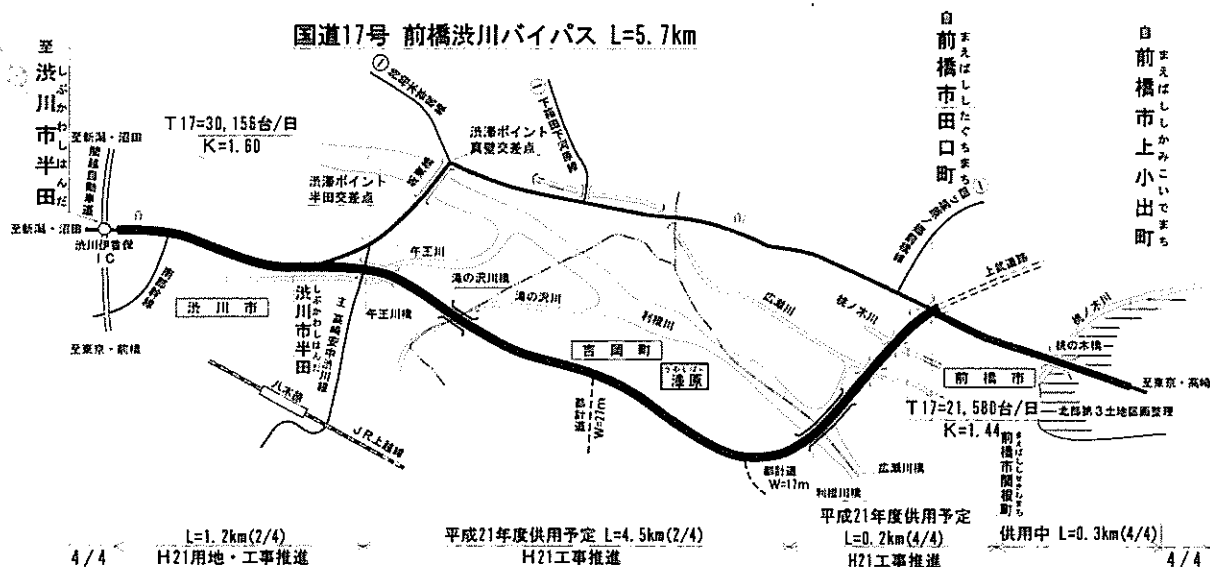
平成20年度は用地買収、埋蔵文化財調査及び利根川橋他橋梁工事、舗装工事等を推進しました。

引き続き、平成21年度も用地買収、利根川橋他橋梁工事、舗装工事等を推進し、前橋市田口町～渋川市半田間（L=4.5km）について暫定2車線供用する予定です。また、起点側取付区間である前橋市関根町～田口町間（L=0.2km）についても完成4車線供用する予定です。

3. 期待される整備効果

前橋渋川バイパスが完成することにより国道17号の通過交通がバイパスに転換し、渋滞が緩和されます。また、走行時間の短縮により産業と情報の交流が促進されます。

4. 位置図及び概要図



『安全』

【平成21年度完成予定】

こくどう 17 号 ぐまのきざわばしきょうりょうほしゅう  
 国道17号檜沢橋橋梁補修

平成21年度事業費：約1.1億円

とねぐん  
 利根郡みなかみ町

1. 事業の必要性及び概要

国道17号檜沢橋は、1958年に架設された鋼橋であるが、架設後51年が経過しており、今後、疲労や劣化等の損傷が深刻になることが懸念されます。

このため、定期点検により確認された損傷が軽微な段階で補修を行い、安全で安心なサービスを提供します。

○全体計画

事業箇所：群馬県利根郡みなかみ町

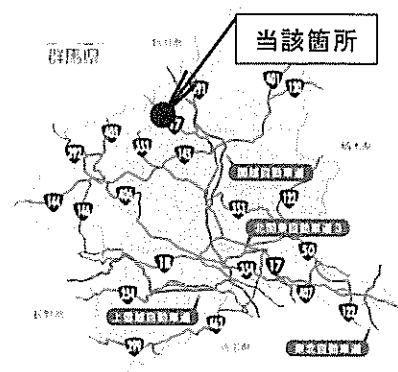
延長：L=51m

事業内容：橋梁補修

全体工期：平成21年度予定

全体事業費：約1.1億円

○位置図



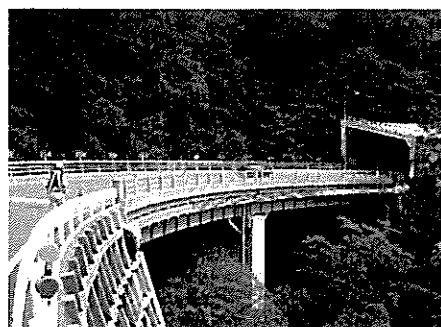
2. 平成21年度の予定

定期点検により、床版の損傷等が確認されたため、各部材における予防的修繕工事を実施します。

3. 期待される整備効果

従来の事後的な修繕及び架替えから、早期に対策を講ずることにより長寿命化が見込まれる橋梁について、予防的な修繕を実施することにより、建設時から架替え時までの修繕・架替えにかかる単年度当たりのコストの大幅な縮減が期待できます。

4. 概要図 (橋梁全景)



(床版の損傷状況)



『暮らし』

【平成21年度完成予定】

国道18号 あんなかし いわい なかじゆく 安中市岩井～中宿自転車道整備

平成21年度事業費：1.1億円

あんなかし  
安中市

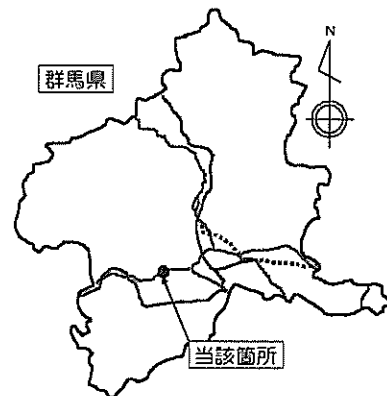
1. 事業の必要性及び概要

今後の自転車走行に関する「緊急対策の実施」や「計画的な整備の推進」に向けたモデル地区として、国道18号安中市岩井～中宿地先において、歩行者・自転車・自動車が分離された自転車走行空間を整備します。

○全体計画

事業箇所：ぐんまけんあんなかし いわい なかじゆく 群馬県安中市岩井～中宿  
延長：L=1400m  
事業内容：自転車道整備  
全体工期：平成21年度予定  
全体事業費：約1.1億円

○位置図



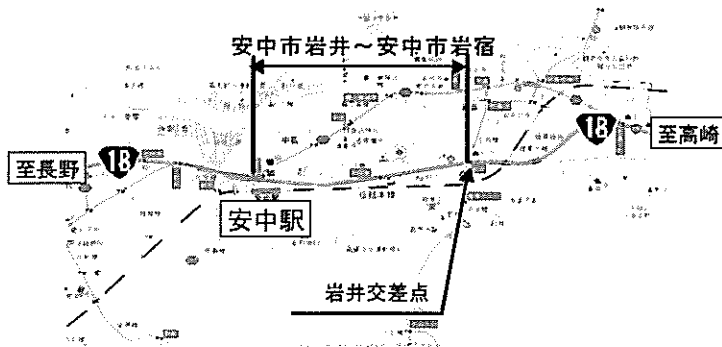
2. 平成21年度の予定

現況の自転車・歩行者道の幅員構成を見直す本体工事を行います。

3. 期待される整備効果

今後の自転車道の通行環境整備の模範となる事業を実施することにより、自転車道の整備促進を図ります。

4. 概要図



現況



整備後イメージ



『活力』  
【事業推進】

一般国道354号高崎<sup>たかさき</sup>～玉村<sup>たまむら</sup>バイパス

平成21年度事業費：1.0億円

高崎<sup>たかさき</sup>市・玉村<sup>たまむら</sup>町

1. 事業の必要性及び概要

高崎<sup>たかさき</sup>～玉村<sup>たまむら</sup>バイパスは、群馬<sup>ぐんま</sup>県高崎<sup>たかさき</sup>市～群馬<sup>ぐんま</sup>県板倉<sup>いたくらまち</sup>町に至る延長約5.8kmの『東毛広域幹線道路』の一部を形成し、一般国道354号の玉村町内の混雑解消を目的とした4車線（暫定2車線）バイパス事業で、これまでに2.0kmを供用しています。

○全体計画

事業箇所：群馬<sup>ぐんま</sup>県高崎<sup>たかさき</sup>市綿貫<sup>わたぬきまち</sup>町～同県佐波<sup>さわ</sup>郡玉村<sup>たまむら</sup>町福島<sup>ふくしま</sup>

延長：L=約5.3km

事業着手：平成5年度

全体事業費：約190億円

2. 平成21年度の予定

引き続き用地買収・改良工事を推進します。

3. 期待される整備効果

現道の混雑緩和が図られると共に、群馬県東部地域の連携軸を形成し、地域のより一層の発展に資するものです。

4. 位置図及び概要図

